

東京都立葛飾特別支援学校高等部 3 年生への出前講座 実施要項

実施日 : 2013 年 11 月 13 日 (水曜)、 時間 : 50 分 (11:15~12:05)

1. 講座のテーマ

土の中から出てきたよー ー土器、そして博物館ー

2. 講座のねらい

- a, 発掘で出土した実物の奈良・平安時代の土器をさわって、現代のお茶碗と比較し、大学生と交流しながら観察することを楽しむ。
- b, 博物館を利用することの楽しさを知り、和洋女子大学文化資料館への行き方と利用方法がわかる。

3. 講座の展開

主な学習内容・活動	指導上の留意点	配時
1. 昔ってどのくらい？博物館って何？（導入） 奈良・平安時代の古さを考え、博物館の存在を確認する。	対象時代の古さをモノサシにして示し、実感できるようにする。また、生徒に博物館体験をたずね、記憶を思い起こさせる。	10 分 含:入室
2. 土器のなぞを知ろう（展開 1） ①土の中から、昔の人の生活の跡や道具が見つかることを知る。 ②実際に遺跡の発掘調査で発見された奈良・平安時代の坏形土器をさわって観察し、現在のご飯茶碗と比較しながら、古代の体感を楽しむ。また、実物の土器で水などを飲む際のおいさを体験する。 ③現代の割れた食器の接合に挑戦し、古代のくらしの復元作業を体験する。	パワーポイントを用いて写真を中心にしながら、発掘調査による昔の生活の跡や道具の発見の様子がわかるようにする。 土器の触察と体験、茶碗の接合では大学生がサポートし、先生方にも参加していただき、生徒とのコミュニケーションを重視して進める。 生徒には土器のスケッチと感想などをワークシートに記入させ、学習の成果物として生徒の手元に残す。 セメダインで接合した茶碗は、本時の終了までに乾くように配慮する。	30 分
3. 博物館がおもしろいよ（展開 2） 土の中から発見された土器などが、古代の暮らしの様子を知るものとして、博物館で展示されていることに気づく。	出土した土器などが実際に文化資料館で展示されている様子をパワーポイントで示し、博物館の役割と、おもしろく利用できることに気づいてもらうようにする。	5 分
4. 今日の学習を思い出に残そう（まとめ） 体験をがんばったしるしに文化資料館のグッズである缶バッジをもらい、土器や博物館への興味を高める。	茶碗の接合やワークシート作成の努力を個々に評価し、大学生が生徒ひとりひとりに缶バッジを渡し、学習の記憶を楽しいものとして留めようになりたい。	5 分 含:退出

4. 使用教具・機器など

- 教具として、ご飯茶碗、セメダイン（茶碗の接合用）を使用する予定です。いずれも当方で用意します。
- パワーポイントを使用したいので、スクリーンを借用いたしたくお願いします。
- ワークシートを作成するため、講座会場へは生徒さんに筆記用具を持参するようご指導をお願いします。